

Sumiko Haneda: A Documentary Filmmaker, Part 2



ドキュメンタリー作家
羽田澄子 Part 2



2017年11月9日(木) - 11月19日(日)
東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

*十三世片岡仁左衛門の記録映画「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」6部作のみ
大ホール(2階)で上映します。

◆開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。
各日の開館時間についてはスケジュール欄をご覧ください。

小ホール 定員=151名(各回入替制)
観覧券の発券=地下1階受付

大ホール▶「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」6部作
定員=310名(各回入替制)
観覧券の発券=2階受付

各回の開映後の入場はできません。

料金=一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料
・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
・観覧券の発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
・観覧券の発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo
長瀬映文化財団
フィルムセンターは長瀬映文化財団の支援を受けています。

4 11/14(水)5:00pm 11/16(木)2:00pm

「新日鉄アワー 生きものばんざい」は、1973年10月から1982年9月にかけて、NET(現テレビ朝日)系列局およびTBS系列局において、日曜午前に放映された30分枠の教養番組(全466話)。各回、さまざまな生き物の生態や人間との関わりが描かれる。羽田は6話分の演出を担当したが、それらのうち27話「モンシロチョウの恋」、51話「流れ藻 運命の乗合バス」、59話「奇魚! 魚を釣る魚」、65話「モモンガ 赤ちゃん日記」を上映する。

生きものばんざい モンシロチョウの恋 (26分・16mm・カラー)NP

1974 制作:毎日放送、岩波映画◎羽田澄子◎内藤完七、福島雄一、河田佳三◎岡晴夫、岡田久◎佐久間俊夫◎牧野由多◎石坂浩二

生きものばんざい 流れ藻 運命の乗合バス(26分・16mm・カラー)NP

1974 制作:毎日放送、岩波映画◎羽田澄子◎内藤完七、福島雄一、河田佳三◎並木菊雄、谷口常也、加藤孝、成瀬慎一◎佐久間俊夫◎牧野由多◎石坂浩二

生きものばんざい 奇魚! 魚を釣る魚 (26分・16mm・カラー)NP

1974 制作:毎日放送、岩波映画◎羽田澄子◎内藤完七、福島雄一、河田佳三◎並木菊雄、谷口常也、草間道則◎岡本光司◎牧野由多◎石坂浩二

生きものばんざい モモンガ 赤ちゃん日記(26分・16mm・カラー)NP

1974 制作:毎日放送、岩波映画◎羽田澄子◎内藤完七、広橋育治、河田佳三◎中谷英雄、喜瀬昭生◎岡本光司◎牧野由多◎石坂浩二

5 11/10(金)2:00pm 11/16(木)5:00pm

岩波ホール演劇シリーズ第二回公演
東海道四谷怪談(93分・16mm・カラー)NP

1976年6月に岩波ホールで上演された「東海道四谷怪談」(武智鉄二演出、落合清彦脚本)の舞台記録。伊右衛門役に中村扇雀(現・四代目坂田藤十郎)、お岩・小佛小平・お熊の三役に白石加代子、直助権兵衛に伊藤雄之助(途中から東屋源喜の代役で它悦も務めた)、お梅に川口小枝が配されている。

1976 企画:岩波ホール|制作:岩波映画◎羽田澄子◎三角善四郎、中谷英雄、大洞陽佑

6 11/10(金)5:00pm 11/15(木)1:30pm

歌舞伎の魅力 菅丞相 片岡仁左衛門 一
義太夫狂言の演技(36分・16mm・カラー)

「菅原伝授手習鑑」の通し上演(1981年11月)を機に国立劇場が企画した作品。「義太夫の素養のある役者」である十三世片岡仁左衛門が菅丞相を演じるさまを、絵巻物や文楽公演のフッテージ等を交えつつ描く。この作品における羽田と仁左衛門の出会い、後の「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」6部作へとつながる。昭和57年度芸術祭優秀作品賞受賞。

1982 企画監修:国立劇場|制作:岩波映画◎羽田澄子◎藤瀬季彦◎西尾清、大洞陽佑◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、澤村宗十郎、貫川延若、中村富十郎、坂東玉三郎

歌舞伎の魅力 音楽 おさん 茂兵衛 大経師
昔 曆にみる(35分・16mm・カラー)

歌舞伎の舞台における音楽の役割と、歌舞伎役者としての音楽の素養の重要性が、六世中村歌右衛門が阿古屋を演じ琴・三味線・胡弓を弾く「壇浦兜軍記」や七世中村芝翫がおさんを演じる「大経師昔曆」の記録映像と共に解説される。昭和60年度文化庁芸術作品賞(短篇映画の部)受賞。

1985 企画監修:国立劇場|制作:岩波映画◎羽田澄子◎藤瀬季彦、桜井朝子◎西尾清、中山憲一、八幡洋一、井原久夫◎久保田幸雄、滝沢修◎中村歌右衛門、中村芝翫、中村富十郎、市川海老蔵、中村福助、中村松江、竹本文春太夫、竹本綾太夫◎大方斐紗子

歌舞伎の魅力 新歌舞伎
(34分・16mm・カラー)NP

明治後期から昭和初期にかけて、特定の劇場に専属していない作家たちが創作した新歌舞伎が、歌舞伎の歴史にどのような新しさを加えたかが、坪内逍遙作「牧の方」と長谷川伸作「一本刀土俵入」の舞台記録映像、さらには稽古の様子や、役者や作家へのインタビューなども交えながら解説される。

1986 企画監修:国立劇場|制作:岩波映画◎羽田澄子◎藤瀬季彦、桜井朝子◎西尾清◎久保田幸雄◎鈴木治彦◎中村歌右衛門、中村勲三郎、尾上梅幸、村上元三、郡司正勝

大ホール

7 11/11(土)11:00am 11/18(土)11:00am

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 若鮎の巻
(100分・16mm・カラー)NP

「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」6部作(1992-94)は、十三世片岡仁左衛門(1903-1994)に魅せられた羽田監督が、その芸や芸談を残すため、1987年から仁左衛門が亡くなる1994年までの長期にわたって撮影した作品である。第一作の本作は、上方歌舞伎若手役者の勉強会として1980年から1989年まで年に1度の公演が行われた「若鮎の巻」の8回目(1987年)の様子を捉える。「一条大蔵」と「傾城反魂香(吃又)」の稽古風景から本舞台の上演までが映し出され、半音階の発音の仕方のような細部にまでわたる仁左衛門の指導ぶりを知ることができる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、宗田喜久松、佐藤和人◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、片岡孝夫、中村福治郎、尾上梅幸、中村富十郎、市村羽左衛門、中村梅玉、片岡響有子、片岡静香、片岡喜代子

8 11/11(土)2:00pm 11/18(土)2:00pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻
上巻(94分・16mm・カラー)NP

「人と芸」は仁左衛門84歳から88歳までの4年間にわたり芸談、舞台、生活を記録したもの。本作は、84歳となる1987年に出演した「伊賀越道中双六」(6月)、「紙子仕立両面鑑」(10月)、「寿曾我対面」(12月)それぞれの上演の様子を中心にまとめられている。「寿曾我対面」は京都南座の顔見世35回連続出演になる記念すべき公演であった。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡秀太郎、片岡孝夫、片岡我當、貫川延若、中村福助、中村扇雀、中村富十郎、中村雀右衛門、伊藤友久

9 11/11(土)4:30pm 11/18(土)4:30pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻
中巻(101分・16mm・カラー)NP

仁左衛門85歳となる1988年が記録されている。前年末の顔見世に続く1月の「寿曾我対面」、2月の「菅原伝授手習鑑」、5月の「妹背山婦女庭訓」の上演の様子や伝えられる一方、23歳のときにまとめた短篇集の巻、乗り物好きなこと、片岡家のお盆など舞台以外の仁左衛門を知ることができる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、中村福助、片岡秀太郎、尾上梅幸、市村羽左衛門、秋山加代、中村吉右衛門、中村芝翫、玉木里春

10 11/12(日)11:00am 11/19(日)11:00am

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻
下巻(110分・16mm・カラー)NP

1988年から1991年の「芸談をきく会」で語られた芸談を中心に、家族インタビューで子供たちから見た仁左衛門の姿や、仁左衛門歌舞伎の立ち上げを回想する夫婦の談話、視力を失い病に倒れながらも演じた南座での「堀川波の鼓」や「菊畑」など、芝居一筋に生きる仁左衛門の姿が多面的に捉えられる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、片岡孝夫、片岡静香、片岡喜代子、伊藤友久、尾上梅幸、中村松江、中村富十郎、片岡我當

11 11/12(日)1:40pm 11/19(日)1:40pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 孫右衛門の巻
(86分・16mm・カラー)NP

1989年10月の歌舞伎座「恋飛脚大和往来」の稽古と舞台の様子をふんだんにおさめ、前年の星野源一写真集「風姿 歌舞伎役者・十三代目片岡仁左衛門」出版時に行われた仁左衛門一家のインタビューから、舞台に打ち込む一家の姿を一気に見せる。

1992 企画:片岡仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、宗田喜久松◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡孝夫、中村雀右衛門、片岡我當、市村吉五郎、片岡我當、片岡秀太郎

12 11/12(日)4:00pm 11/19(日)4:00pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻
(158分・16mm・カラー)NP

6部作の最終作は、仁左衛門の最晩年を捉え続ける。「楼門五三桐」の石川五右衛門や「八陣守護城」の佐藤正清など、90歳になお初役を務める若々しい姿や、長く上演されなかった「鬼一法眼三略巻」三段目・奥庭の場を、諸先輩から受け継いだ芸を残していく責任感と共に上演する姿が映し出される。喜代子夫人をはじめ、仁左衛門を支えた女性たちの存在も印象深い。

1994 企画:仁左衛門の芸談をきく会|制作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、宗田喜久松、佐藤和人◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、片岡孝夫、中村福治郎、尾上梅幸、中村富十郎、市村羽左衛門、中村梅玉、片岡響有子、片岡静香、片岡喜代子



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 下巻



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 孫右衛門の巻



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 孫右衛門の巻



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻